

2011年度 第1回市民公開型教職員協同講習会アンケート 抜粋

講師：コミュニケーション有限会社 代表取締役 山元 賢治 氏

2011年7月22日(金)
クラーク・チャペル
16:45～18:15

《学生》

- ・今回の講演の中で一番心に残った事は「社会を変えなければ自分から変わらないといけない」という言葉でした。周りを変えていこうと思うならば、周りに何かを投げかけるだけでなく自分が変わっていかなくては、周りも反応しきれないのだと思いました。とても「気付き」の多い講演でした。
- ・今まで色々な講演会に参加したことがありますが、こんなに刺激を受けたことはありません。私も団体のリーダーをやっているのですが、そこで活かせるような事がいくつもあったので、本当に良かったです。「変化を起こすものこそがリーダー」これが一番心に残りました。
- ・「スピード感」「変化に対応する力」をつけようと思いました。「聞く力」「Face to Face」でやっていきます！本日はありがとうございました。
- ・リーダーシップに関する話を、実際にビジネスの世界で実践されてきた方から聞くことが出来て非常に勉強になりました。今やっているプロジェクトに変化を起こすため頑張っていこうと思います。
- ・自分自身リーダーに向いていないと思っていたのですが、リーダーに必要な資質の中には人間に必要な資質もあると思いました。特に「聞く力」は伸ばしていきたいと思います。将来を見据えてしっかり「考えること」の大切さが分かりました。
- ・今回山元さんの話を聞いて、リーダーシップの事を越えて人間のあり方のようなものを考え直され、知ることが出来たと思います。日本人の会議でのことなど、グサッと心に刺さり、これから自分も直していこうと思いました。貴重な経験ありがとうございました。
- ・今回の山元さんの話の中で一番印象に残っている事が「聞く力」です。私は人の話を聞くのが好きで、その力を伸ばしたいと思っていました。今日の話でヒントを得ることが出来た。

《一般》

- ・今回のお話を参考に、自分のスタイルをしっかりと確立していきます。
- ・プロ意識、時代の流れの早さ、リーダーシップについての考え方、再認識させていただきました。自分軸を再度直してみたいと思います。現在40代後半ですが、まだまだ若い気で頑張りたいと思います。周りを見て、ここへ参加して一生懸命聴いている学生は輝いて見えました。
- ・本日はPBLプログラムにおいて、貴重なお話を聞く事ができ、誠にありがとうございました。山元さんのお話は、頭の中では漠然と思いついていても、この年では出来ないことがほとんどでした。今からでも出来ることは、恥ずかしがらずに実践していきたいです。

2011年度 第2回市民公開型教職員協同講習会アンケート 抜粋

講師：オフィスアニバーサリー（財）生涯学習開発財団認定
プロフェッショナルコーチ 竹下 知子 氏

2011年10月14日(金)
クラーク・チャペル
16:45～18:15

《学生》

- ・自分のタイプが分かったことで自分の弱みを知り、またそれがとてもしっくりきたので、とてもすっきりした。今のプロジェクトには課題も多いが、前向きに取り組んでいきたいと思う。
- ・プロジェクトへの関わり方を見直すとても良い機会となりました。良いチームを作るよう、自分に出来ることは何かを考え行動していきたいです。竹下さんの人の聞く力に訴える話し方に感激しました。
- ・他者から見た自分がこうも違うものなのかと痛感しました。
- ・改めてチームビルディングという角度からプロジェクトメンバーを捉え直すことができました。
- ・今後のプロジェクトの授業でもチームで活動し、ゴールを共有するということを意識しながら目標に向かいたいと思います。
- ・参加型の会でとても楽しかったです。自分のプロジェクトの弱みを知ることができただけでなく、コーチングの模擬体験ができ、「聞く」ということを意識的に行えました。実際にチームや社会に出た時に活かそうと思います。
- ・秋学期になって本格的にプロジェクトを進めていく時期に、プロジェクト内で意見が食い違うことが多々ありました。今日のセミナーで、人によってコミュニケーションの仕方を変えることがより有効なことを知って、非常に有意義な時間となりました。
- ・秋学期からプロジェクト科目のリーダーをすることになり、良いチーム作りのヒントが得られたらと思い、今日の講習会に参加しました。もっとメンバー間のコミュニケーションを活発にし、一人一人の強みを生かし、弱みを意味のないものにするように、これから頑張っていきます。

《一般》

- ・チームの人間関係において、公平に扱っていくことはもちろん大事だが、タイプによってより良い使い分け、その人にとってより効果的な対応が出来れば素晴らしいので、その参考にさせていただきます。
- ・仕事場の中でも活かせるチームビルディングについて学ばせていただきました。フィードバックとして全スタッフに伝えたいと思います。

2011年度 第3回市民公開型教職員協同講習会アンケート 抜粋

講師：根本 見佑 氏 (映像作家)

武田 陽介 氏 (写真家)
笠原 敬太 氏 (社員食堂ラボ運営)

かまだ ゆたか 氏 (DoGA代表・CGアニメプロデューサー)

2011年12月8日(木)
至誠館3階会議室
16:45～18:15

《学生》

- ・著作権について知ることは大切ですが、最終的に人と人の関わり合いであり、誠意をもって接することが一番大切だとわかりました。やはり、隣人に愛をもって接するということに繋がるのだと思います。これから著作物などに関わる際には、今日の事を思い出して、自分の誠意を持って関わっていきます。
- ・著作権の問題を考える際に、法的な問題うんぬんを考えるだけでなく、そもそも一人間として相手の立場に立って考えるというのは非常に大切なことだと思います。本日お話いただいた内容を今後の参考にしたいです。
- ・まず何よりも世の中には色々な職業があるなと思いました。作品をぞんざいに扱うのではなく、これからはその作品を創作した背後の人の努力・工夫を見つめていきたいです。
- ・「やっつてダメ」ではなく、「何故やっつてダメなのか」を考える事が一番重要だと気付きました。
- ・今回の講義を聞いて、作品の背景にはクリエイターの思いがあるということに改めて実感しました。これから作品を扱うときにも忘れないようにしたいです。
- ・著作権と聞いて今回の講義はかたい内容なのかと思いましたが、講演者の方々の話し方や見せ方の上手さにも引き込まれました。発信者でも著作権は大きな問題で、クリエイティブに影響があるという話は驚きました。やはり世の中が著作権について知らなさすぎる事がクリエイティブの制限を増幅させているのではないかと思います。
- ・著作権の問題に関しては、考えれば考えるほど様々な法的事項に抵触するのではないかと不安になります。そもそも著作権とは、作品やクリエイターを守る為にあるということを再確認し、道徳的な観点からまず考えてみようと思った。法的知識も必要になってくると思うので、合わせて勉強しておこうと思います。
- ・今日のお話の中で、製作者への思いやりや誠意が大事だということを知ってとても納得しました。掲示を見て飛び込みで参加しましたが、楽しかったです。ありがとうございました。

《一般》

- ・自分もブログや小説などを書く機会があるので、著作権を気にしている部分が多々ありました。今日は実際のクリエイターと編集者の方々の意見を生で聞く事ができて本当に勉強になりました。ありがとうございました。

外部評価委員会

本取組であるPBL推進支援センター事業及びプロジェクト科目関連事業に対する学外評価、また本学の教育研究等の向上に資する提言を得るため、毎年度末、学外の有識者から成る外部評価委員会を開催した。

外部評価委員（敬称略）

《2009-2010年度》2009年11月1日～2011年3月31日

門川 大作 京都市長
北尾 哲郎 社団法人京都経済同友会 代表幹事
中村 尚五 東京電機大学 情報環境学部教授

《2011年度》2011年4月1日～2012年3月31日

門川 大作 京都市長
田辺 親男 社団法人京都経済同友会 代表幹事
中村 尚五 東京電機大学 名誉教授

外部評価委員会記録

《2009年度》

2010年3月15日（月）10：00～11：30 日東薬品工業株式会社 会議室

出席者：北尾 哲郎（社団法人京都経済同友会代表幹事）
山田 和人（同志社大学PBL推進支援センター長・文学部教授）

2010年3月17日（水）13：00～14：00 同志社大学 有終館担当理事室

出席者：門川 大作（京都市長）
中村 尚五（東京電機大学情報環境学部教授）
山田 和人（同志社大学PBL推進支援センター長・文学部教授）
辻本 哲宏（同志社大学PBL推進支援センター委員・生命医科学部教授）

PBL推進支援センター事業の開始以来、初の外部評価委員会開催となった。山田センター長より改めて本取組の趣旨が説明され、初年度ということもあり、「こういうことが出来るのでは？」「こういう点に気をつければ良いのでは？」等意見交換がなされた。PBL型教育については可能性がある教育法として、また本センターについては他大学等を調査して今後の改善につなげていく姿勢に評価を頂いた。同時に、PBLの知名度の低さ等の課題も指摘され、PBL型教育推進の側面への意見を頂いた。

《2010年度》

2011年3月14日（月）14：00～16：00 同志社大学 徳照館会議室

出席者：門川 大作（京都市長）
北尾 哲郎（社団法人京都経済同友会代表幹事）
中村 尚五（東京電機大学情報環境学部教授）
山田 和人（同志社大学PBL推進支援センター長・文学部教授）

本取組2年目の活動を振り返り、活発化する本センターの事業による波及効果について問われた。また、社会における人材育成の問題と、大学の中での人材育成の問題をどうつなぐかについては、大学時代に自ら

考える力を身に付けさせて欲しいという大学に対する要望があり、PBL型教育に対する期待が寄せられた。

《2011年度》

2012年3月9日（金）13：00～15：00 同志社大学 有終館担当理事室

出席者：田辺 親男（社団法人京都経済同友会代表幹事）

中村 尚五（東京電機大学名誉教授）

山田 和人（同志社大学PBL推進支援センター長・文学部教授）

2012年3月23日（金）16：00～17：00 京都市役所

出席者：門川 大作（京都市長）

山田 和人（同志社大学PBL推進支援センター長・文学部教授）

経済産業界からは従来の講義スタイルだけでない大学教育の必要性が指摘された。社会が求める大学教育のあり方、現状の学生像について、PBLを通して社会のニーズと学生のニーズが合わさるようになればとの期待が寄せられた。課題解決力や適応能力といった本学のPBL型教育が目指すプロジェクト・リテラシーが、社会からも求められていることが改めて確認され、今後のPBL型教育の在り様を考える機会となった。また、2011年度で最終年度となる本GP事業であるが、これまでの事業を本当に機能させられるかは、今後の取組次第であると叱咤激励を受けた。

調査訪問・シンポジウム等への参加

PBLのモデルの開発を目指し、正課科目・課外活動を問わず、他の大学や教育機関で実施されているPBLの取組調査を行った。過去に調査を行った先についても再度訪問し、取組の推移を調査した。

《2009年度》

- 2009年9月23日 岡山大学「第6回教育改善学生交流 i*See 2009」
参加：中原伸夫
- 2009年10月18日 大学コンソーシアム京都
第7回SDフォーラム「教育の質向上を支える職員の職能開発」
参加：中原伸夫
- 2009年10月23日 毎日新聞 第6回毎日大学フォーラム
参加：角谷哲史、中原伸夫
- 2009年11月27日 内田洋行セミナー「大学・高校実践ソリューションセミナー 2009 in 大阪」
参加：牧瀬喬
- 2009年12月12日 法政大学 第3回FDフォーラム「学生・職員・教員によるFD改善とは」
参加：角谷哲史、中原伸夫
- 2010年1月7～8日 大学教育改革プログラム合同フォーラム
参加：金田重郎、角谷哲史、中原伸夫、弘田一恵、長東友実
- 2010年1月29日 早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター (WAVOC)
「社会貢献で大学生は育つのか? Vol.2」
参加：弘田一恵
- 2010年2月17日 東京大学「大学・アクティブラーニング・社会」
参加：山田和人
- 2010年2月22日 金沢大学 第7回大学教育セミナー「アクティブラーニングが創る大学教育の未来」
参加：山田和人、中原伸夫
- 2010年2月23日 ◇東京学芸大学 学務課、学生キャリア支援センター
教育系課程で必修科目として「プロジェクト学習科目」を設置、総合演習と一体となっており、基礎力をつける為の積上げ型であった。但し、カリキュラム改訂の為、2010年度以降のカリキュラムではプロジェクト学習科目は廃止。キャリア支援の発信拠点である「学芸カフェテリア」では、学修支援メニューとキャリア支援メニューが効果的に設定されている。
調査：山田和人、中原伸夫、堀井克敏、長東友実
- 2010年2月27日 京都文教大学 特色GP総括シンポジウム「現場主義教育からみえる課題と展望」
参加：山田和人、中原伸夫、弘田一恵
- 2010年3月5日 経済産業省「社会人基礎力育成グランプリ2010 決勝大会」
参加：利田吉弘、中原伸夫、堀井克敏、小川里奈、粟飯原理
- 2010年3月6日 学習院大学 FIBEの会「自ら学ぶ意欲を持ち、思考と試行を繰り返し、表現することを楽しみ、実行する児童・生徒・学生はどうしたら育つのか」
参加：牧瀬喬

《2010年度》

- 2010年5月13日 株式会社ワークアカデミー 第1回就業力育成支援セミナー
参加：角谷哲史、中原伸夫
- 2010年5月28日 ◇ラーネットグローバル・スクール
神戸市に位置する民間スクール。小中学生対象のフルスクールでは、ベーシック学習、テーマ学習、プロジェクト学習、とことんやろう!の4つの学習方法を用いる。子供達が中心の学びを助ける教員を「ナビゲータ」と呼んでいる。
調査：金田重郎、中原伸夫、弘田一恵
- 2010年7月8日 株式会社進研アド
「社会から求められる大学の人材養成とその教育力」シンポジウム
参加：角谷哲史、中原伸夫
- 2010年8月2日 京都大学高等教育研究開発推進センター・財団法人電通育英会共催
大学生研究フォーラム2010
参加：山田和人、金田重郎、角谷哲史

- 2010年9月1～3日 社団法人私立大学情報教育協会 平成22年度教育改革ICT戦略大会
参加：角谷哲史、中原伸夫
- 2010年9月15日 経済産業省 社会人基礎力育成事例研究セミナー（近畿地区）
「産業界の協力による社会人基礎力プログラムの作り方」
参加：角谷哲史、利田吉弘
- 2010年9月16日 New Education Expo 実行委員会「New Education Expo 2010」
参加：角谷哲史、中原伸夫
- 2010年9月21日 経済産業省 社会人基礎力育成事例研究セミナー（中部地区）
「振り返り・評価を活用した社会人基礎力の育成」
参加：中原伸夫
- 2010年9月27日 経済産業省 社会人基礎力育成事例研究セミナー（北海道地区）
「社会人基礎力を育成する授業の工夫」
参加：利田吉弘
- 2010年10月3日 早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）
大学教育における「海外体験学習」研究会
「教職協働を越えて～学びを支える仕組みづくり～」
参加：角谷哲史
- 2010年10月9日 法政大学 第8回FDシンポジウム
「教員・職員の職務からみた教育改善—新たな展開を目指して—」
参加：角谷哲史、中原伸夫
- 2010年10月11日 経済産業省 社会人基礎力育成事例研究セミナー（東北地区）
「社会人基礎力で成績評価を行うためには」
参加：角谷哲史
- 2010年10月31日 関西大学・関西学院大学・同志社大学・立命館大学
関西4大学学長フォーラム「次代を担うリーダーを育てる—関西4大学の提言」
参加：栗飯原理
- 2010年11月13日 東京電機大学 情報環境学部10周年記念講演
参加：中原伸夫
- 2010年11月20日 ◇品川女子学院「28プロジェクト」、オープンキャンパス
28歳をターニングポイントとし、社会で活躍する女性を育てる指導を中高一貫で行う。毎年中学3年生の総合演習において企業とのコラボレーションを行う他、様々な特別講座を設けている。
調査：角谷哲史、中原伸夫、長東友実
- 2010年12月2日 経済産業省「社会人基礎力育成グランプリ2011 近畿地区予選大会」
参加：角谷哲史、中原伸夫
- 2011年1月24～25日 大学教育改革プログラム合同フォーラム
参加：山田和人、角谷哲史、中原伸夫、長東友実
- 2011年2月28日 愛知東邦大学「就業力育成と大学の教育改革」
参加：中原伸夫
- 2011年3月9日 経済産業省「社会人基礎力育成グランプリ2011 決勝大会」
参加：中原伸夫、寺本正芳、牧瀬喬、廣井彰人、長東友実
- 《2011年度》
- 2011年5月28日 大学コンソーシアム京都
京都高等教育研究センター 2010年度プロジェクト研究報告会
参加：角谷哲史、平田有喜宏
- 2011年6月5日 大学教育学会「大学教育の質とは何か—ふたたび大学のレゾナンスを問う—」
参加：角谷哲史、平田有喜宏、弘田一恵、長東友実
- 2011年6月15日 New Education Expo 実行委員会「New Education Expo 2011」
参加：角谷哲史、平田有喜宏
- 2011年7月2日 法政大学 第6回FDワークショップ
「PBLによる学びの改善—有意義な取り組みとは—」
参加：角谷哲史、栗飯原理
- 2011年7月19日 ◇早稲田大学 プロフェッショナルズ・ワークショップ

- 企業や自治体を持つ課題に対し、企業(自治体)・大学・学生が協力してプロジェクトを遂行、課題解決に取り組む。7-9月の間に実施。
調査：平田有喜宏
- 2011年7月19日 立教大学 経営学部シンポジウム
「アクティブ・ラーニングとピア・ラーニング～立教大学BLPの取り組み」
参加：平田有喜宏
- 2011年7月20日 ◇明治大学 商学部「特別テーマ実践科目」
社会の中にある課題を見つけ出し、解決策の企画・実行、その成果を報告する。毎年約20テーマが開講。社会が見える、社会から見えるという、学生の「見える化」を目指す。
調査：平田有喜宏
- 2011年8月25日 ◇甲南大学 CUBEプロジェクト科目
マネジメント創造学部(CUBE)においてプロジェクト型学習を学部教育の中心に位置付けている。西宮キャンパスはマネジメント創造学部のみとなっており、プロジェクト型学習を支える学習環境を提供している。
調査：平田有喜宏
- 2011年8月30日 ◇広島経済大学 興動館
正課の「興動館科目」、課外の「興動館プロジェクト」から成る「興動館教育プログラム」を設置。各プロジェクトのスペースや演習室、宿泊施設を伴う興動館には専任スタッフが常勤。興動館プロジェクトには職員や教員のコーディネーターを配置し、活動をサポートする。
調査：平田有喜宏
- 2011年8月30～31日 第43回IDE大学セミナー「自律的学習」
参加：平田有喜宏
- 2011年9月6～8日 社団法人私立大学情報教育協会 平成23年度教育改革ICT戦略大会
参加：角谷哲史、平田有喜宏
- 2011年9月10日 武蔵大学 教育GPシンポジウム
参加：平田有喜宏
- 2011年10月6日 首都大学東京 FDセミナー「大学らしい知にこだわったアクティブ・ラーニング」
参加：長東友実
- 2011年11月17日 株式会社内田洋行「大学・高校実践ソリューションセミナー 2011 in 大阪」
参加：平田有喜宏、牧瀬喬
- 2011年11月25日 (株)NPCコーポレーション/大学問題研究所
シンポジウム「危機の時代の大学経営2011大学広報とブランディング」
参加：牧瀬 喬
- 2011年11月26～27日 大学教育学会 2011年度課題研究集会
参加：平田有喜宏、牧瀬喬、長東友実
- 2011年12月1日 京都大学高等教育研究開発推進センター 公開研究会
「Deep Learningにもとづく大学教育のあり方」
参加：平田有喜宏、弘田一恵、長東友実
- 2011年12月13日 ◇九州工業大学 工学部
総合システム工学科においてPBL科目を1-3年次全学期に必修科目として設置、基礎・専門・演習・実験・卒業研究へとつなげる。PBL用の空間、プロジェクトラボラトリがある。
◇北九州市立大学 キャリアセンター、地域共生教育センター、地域創生学群
キャリアセンターでは学生が企画・運営を行う合同業界研究会を実施。地域共生教育センターは「421Lab.」として学生の地域活動を支える。また、地域創生学群では、学部の枠を越えて幅広い分野を学ぶことができる。
調査：山田和人、平田有喜宏、弘田一恵、長東友実
- 2011年12月14日 ◇広島経済大学 興動館
興動館プロジェクトのサポート体制等のより詳細な調査、および意見交換を目的に再訪問。
調査：山田和人、平田有喜宏、弘田一恵、長東友実
- 2012年1月28日 関西大学 第6回FDフォーラム
「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開最終成果報告会」
参加：長東友実
- 2012年2月20日 2011年度プロジェクト科目「平成の京街道をゆく～京阪沿線の魅力を発見・発掘・発信しよう！」受講生による観光施策提言
参加：平田有喜宏

- 2012年2月23日 三重大学 公開FD
「三重大学版初年次教育の展開と検証－全学生対象のPBL型教育－」
参加：平田有喜宏
- 2012年2月27日 社会人基礎力グランプリ2012決勝大会
参加：平田有喜宏、矢淵愛子、奥谷綾
- 2012年2月27日 ◇立教大学 経営学部BLP
経営学科のコアプログラムとして展開されているBLP(Business Leadership Program)では、学期毎にプロジェクト型学習と理論学習を交互に設定。過年度受講経験のあるSA (Student Assistant) が活躍する。教育GP終了後も継続する事業として、2007年以來再訪問。
◇立教セカンドステージ大学
シニア層を対象とした生涯学習プログラム。バラエティ豊かな講師陣、講義内容を設定、学生自ら学ぶ意欲も高い。
調査：山田和人、新茂之、平田有喜宏、弘田一恵、長東友実
- 2012年2月28日 ◇東海大学 チャレンジセンター
他学部他学年のメンバーから成るプロジェクト活動。学生主体でゼロから企画内容を作り上げていく。活動を通じて集い力・挑み力・成し遂げ力の習得を目指す。センターには専任スタッフが常勤し、各プロジェクトは、担当の職員および教員がきめ細かいサポート、指導を行う。
◇東海大学 教養学部SOHUMプログラム
教養学部全学生を対象とした実践型教育プログラム。全員にSOHUMカルテ（個別評価シート）を作成、ステップ毎の評価基準を開示している。
調査：山田和人、平田有喜宏、弘田一恵、長東友実
- 2012年3月3日 大学教育改革フォーラムin東海2012
参加：平田有喜宏
- 2012年3月7日 九州工業大学 教育フォーラム「大学教育におけるパラダイムシフトと新機軸」
参加：平田有喜宏
- 2012年3月14日 日本私立大学協会 私学高等教育研究所第51回公開研究会
「ルーブリックとティーチング・ポートフォリオ」
参加：平田有喜宏

学外報告

本学が取り組む「プロジェクト科目」を中心としたPBL（Project-Based Learning）型教育について報告依頼を受け、他大学や企業が主催するシンポジウム等で講演を行った。

《2009年度》

- 2009年9月22日 岡山大学
「第6回教育改善学生交流 i*See 2009 職員が参加する教育改善活動について」
会場：岡山大学 津山キャンパス
報告者：中原伸夫
講演：「PBLの運営サポートとしての職員の役割 学びの原点－プロジェクト科目の挑戦」
- 2009年10月23日 毎日新聞 第6回毎日大学フォーラム
会場：名古屋市中ミッドランドスクエア
報告者：圓月勝博
- 2010年2月20日 同志社大学商学部特色GPシンポジウム
「学びの意欲を引き出す新しい学習スタイル」
会場：キャンパスプラザ京都
報告者：圓月勝博
講演：「プロジェクト・リテラシーの育成」
- 2010年3月5日 大阪大学 大学教育実践センター
会場：大阪大学 豊中キャンパス
報告者：山田和人
講演：「学習支援システムとプロセス評価－同志社大学の全学共通教養教育PBL（プロジェクト科目）を中心に－」
- 2010年3月23日 九州工業大学 平成21年度PBLシンポジウム
会場：九州工業大学 戸畑キャンパス
報告者：山田和人
講演：「同志社大学の教養教育PBL（プロジェクト科目）の試み」

《2010年度》

- 2010年6月30日 同志社研修・交流会
会場：同志社大学 新町キャンパス 尋真館30番教室
報告者：山田和人
講演：「PBLが拓く未来－教育の壁を超えて－」
- 2010年8月6日 株式会社SIGEL 学修支援としてのSNS・ポートフォリオ事例紹介セミナー
会場：株式会社SIGEL 京都オフィス会議室
報告者：山田和人
講演：「自律的学習とポートフォリオ」
- 2010年9月16日 New Education Expo 実行委員会「New Education Expo 2010」
「大学における新しい授業の形」
会場：大阪マーチャングイズ・マート
報告者：山田和人
講演：「プロジェクト学習とポートフォリオ～PBLにおける評価の視点と方法についての問題提起～」
- 2010年11月13日 東京電機大学 情報環境学部10周年記念フォーラム
会場：東京電機大学 千葉ニュータウンキャンパス
報告者：山田和人
パネルディスカッション：「情報環境学部における教育方法について」
- 2011年1月19日 同志社大学 リエゾンオフィス・知的財産センター 2010年度リエゾンフェア
会場：新・京都ホテル
報告者：山田和人
講演：「テーマ公募制によるプロジェクト科目～社会の教育力を大学へ～」

- 2011年1月24日 平成22年度大学教育改革プログラム合同フォーラム
「大学教育推進プログラム」ポスター展示会
会場：アキバ・スクエア
報告者：山田和人、角谷哲史、中原伸夫、長東友実
- 《2011年度》
- 2011年5月28日 大学コンソーシアム京都
京都高等教育研究センター 2010年度プロジェクト研究報告会
会場：キャンパスプラザ京都
報告者：山田 和人
- 2011年6月5日 大学教育学会「大学教育の質とは何か—ふたたび大学のレゾンテールを問う—」
会場：桜美林大学 町田キャンパス
報告者：山田和人、中原伸夫
細尾皓平（以下、2010年度プロジェクト科目受講生）、桂真奈美
- 2011年7月2日 法政大学 第6回FDワークショップ
「PBLによる学びの改善—有意義な 取り組みとは—」
会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス
報告者：山田和人
講演：「PBLは日々FD—同志社大学プロジェクト科目の場合—」
- 2011年10月20日 私立大学キャンパスシステム研究会 2011年度第4回第一分科会
会場：同志社大学 寒梅館211番教室
報告者：山田和人「PBLで学生は変わる！社会が変わる！」
細尾皓平（2010年度プロジェクト科目受講生）、中村みゆ（以下、2011年度プロジェクト科目受講生）、田中菜月、西川久美子

資料

プロジェクト科目ホームページ

TOPページ <http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/pbl/index.html>



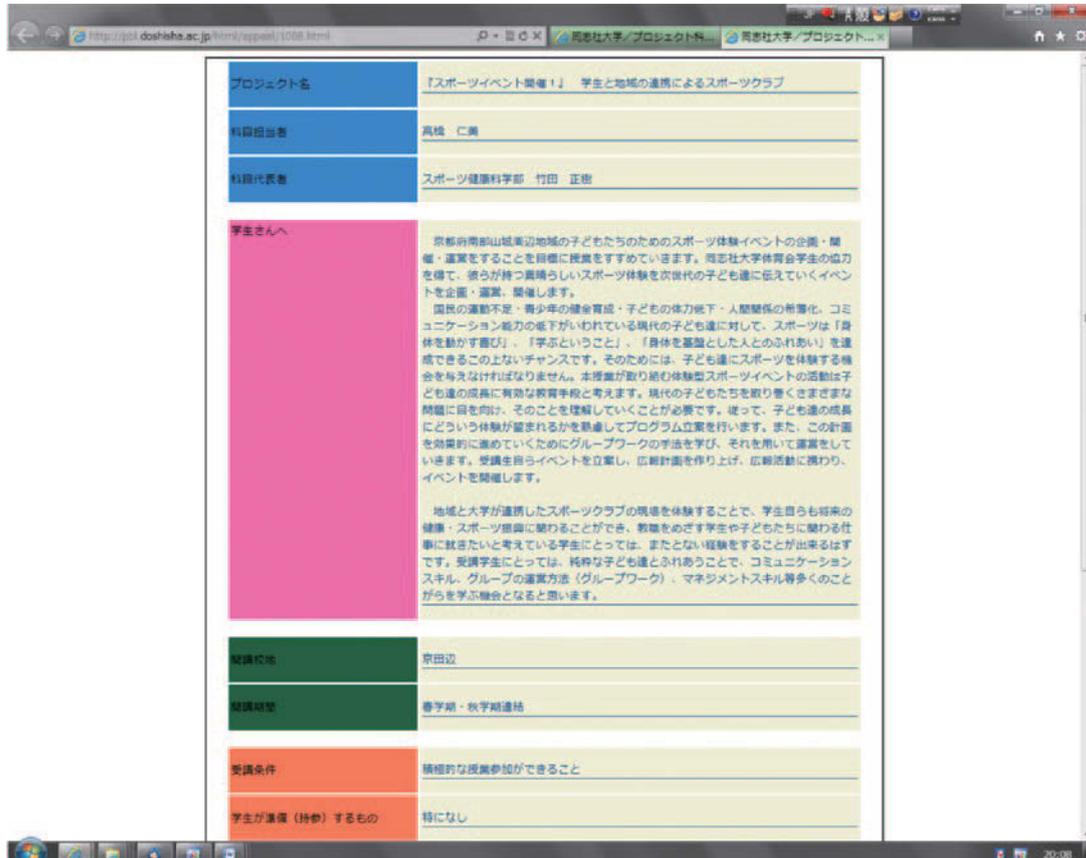
科目に関する最新情報や活動を紹介するブログ <http://pbl.doshisha.ac.jp/blog/>



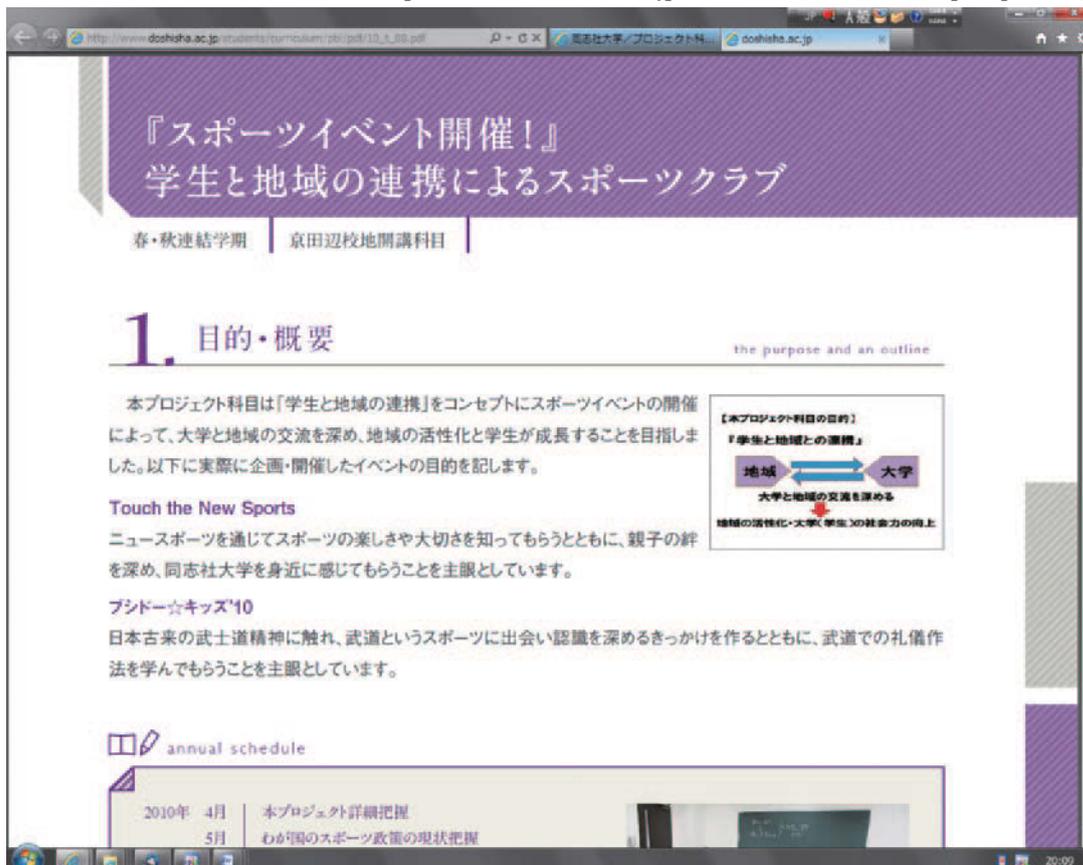
年度別に開講科目を紹介 <http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/pbl/theme/>



各担当者による学生向けアピール文 〈例〉 <http://pbl.doshisha.ac.jp/html/appeal/1008.html>



各プロジェクトの学生成果報告書 〈例〉 http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/pbl/pdf/10_t_08.pdf



成果報告会のお知らせ <http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/pbl/reporting.html>



CNS (SNS型学修支援システム) の紹介 <http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/pbl/cns.html>

The screenshot shows the 'CNS' project subject page on the Doshisha University website. The page is titled 'プロジェクト科目: CNSについて' (Project Subject: About CNS). It features a navigation menu on the left with categories like '授業・履修・試験' (Classes, Enrollment, Exams) and 'プロジェクト科目' (Project Subject). The main content area includes a description of the CNS system, its development history, and a list of related documents for download. A sidebar on the right contains a '関連資料 (1)' (Related Materials 1) section with a diagram and a '関連資料 (2)' (Related Materials 2) section with a diagram.

各種提出書類 ダウンロード <http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/pbl/unei.html>

The screenshot shows the 'Download' page for project subjects on the Doshisha University website. The page is titled 'プロジェクト科目: ダウンロード' (Project Subject: Download). It features a navigation menu on the left with categories like '授業・履修・試験' (Classes, Enrollment, Exams) and 'プロジェクト科目' (Project Subject). The main content area lists various documents available for download, including '登録志願書' (Registration Application Form), '各種ワークシート' (Various Worksheets), '試験前準備フォーム' (Exam Preparation Form), '登録前準備フォーム' (Registration Preparation Form), 'プロジェクト科目_学研交付補助費責任保険料納入用紙' (Project Subject_Research Delivery Subsidy Liability Insurance Premium Payment Form), and 'CNS' (CNS-related documents). A sidebar on the right contains a '関連資料 (1)' (Related Materials 1) section with a diagram and a '関連資料 (2)' (Related Materials 2) section with a diagram.

PBL推進支援センターホームページ

TOPページ <http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/ppsc/>



センター概要 <http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/ppsc/about.html>



事業内容の詳細について <http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/ppsc/jigyo.html>

同志社大学
Doshisha University

大学紹介 | 教育(学部・大学院) | 研究活動 | 国際交流・留学 | 図書館 | キャリア形成支援・国際 | 教育研究センター

同志社大学で学びたい方 | 学部入試 | 大学院入試 | 生涯学習 | 在校生 | 卒業生 | 一般の方

ホーム > 教育 > センター・PBL推進支援センター > 事業内容の詳細について

教育(学部・大学院)

事業内容の詳細について

■ 研究所・センター

- 全学共通教養教育センター
- 言語文化教育研究センター
- 人文科学研究所
- アメリカ研究所
- 理工学研究所
- キリスト教文化センター
- 歴史資料館
- 研究開発推進機構
- 教育開発センター
- 同志社社会資料センター
- 環境保全・実験実習支援センター
- PBL推進支援センター**
 - PBL推進支援センター員からのご挨拶
 - センター組織
 - 組織体制
 - 事業内容の詳細について
 - PBL推進協議会
 - 市民公開型教職員公開講座
 - 参考資料
 - リンク
 - お問合せ/アクセス

■ PBLの調査研究・モデル開発

他大学や教育機関で実施されているPBLの取組を調査研究し、PBLのモデルの開発を推進します。

■ PBL推進支援センター委員会の開催

PBL推進支援センターの運営について審議します。学外委員も参加し、センターの事業についての評価、検証を実施します。

■ PBL推進支援センター報の発行

学内外のPBLの取組に関する情報を掲載した冊子を作成し、学内外に配付します。これにより、PBLの一番の推進とFD・SDの推進をはかります。

■ 他大学合同成果報告会の開催

PBLを実施している大学間で合同成果報告会を開催し、PBLを推進し、学長、教職員間の交流をはかり、PBLの教育ネットワークを構築します。

■ PBLへの産官支援

全学共通教養教育科目『プロジェクト科目』を中心とした学内の取組(正課、課外も含む)への支援を積極的にを行います。

■ 資料室の整備

PBLに関する資料を整備し、教職員や学生の閲覧に供し、情報提供を行います。

■ 機器・設備の充実

PBLの取組を支援するために、教材の作成や取組の紹介等のための機器・設備の充実をはかります。

■ SNS (SNS型WEB学修支援システム)の開発

既に学内で活用してきたSNS (Social Networking Service) 型WEB学修支援システムを基盤として、PBL推進に特化したSNS (Community Networking Service) の標準モデルを開発します。SNSの学生ポートフォリオ機能やログ分析機能等の充実・開発により、個々の学生の取組や成果を可視化し、成績評価や進路指導に活用します。

PBL推進協議会 <http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/ppsc/suishin.html>

同志社大学
Doshisha University

大学紹介 | 教育(学部・大学院) | 研究活動 | 国際交流・留学 | 図書館 | キャリア形成支援・国際 | 教育研究センター

同志社大学で学びたい方 | 学部入試 | 大学院入試 | 生涯学習 | 在校生 | 卒業生 | 一般の方

ホーム > 教育 > センター・PBL推進支援センター > PBL推進協議会

教育(学部・大学院)

PBL推進協議会

学内外のPBL教育における研究活動を支援します。PBL研究を通じて、FDとSDの協同活動を促進し、学生課外教育の確保に努めていきます。

2011年度

■ 第4回 PBL推進協議会

日時	2012年1月7日(土) 13時30分~16時30分
場所	同志社大学 東洋オフィス ※アクセスマップは こちら をご覧ください。
テーマ	PBL型教育における評価について
本日の協議会について	同志社大学PBL推進支援センター長 山田 和人
講演	「東京電機大学情報工学部におけるPBL型授業の評価について」 東京電機大学情報工学部准教授 土肥 伸一 氏 「専修大学ネットワーク情報学部におけるPBL型授業の評価について」 専修大学ネットワーク情報学部教授 飯田 直作 氏

■ 第3回 PBL推進協議会

日時	2011年11月12日(土) 13時30分~16時20分
場所	同志社大学 東洋キャンパス 専修館 6階大会議室 アクセスマップ
テーマ	「地域社会からPBL型教育を評価する」
本日の協議会について	同志社大学PBL推進支援センター長 山田 和人 「PBLの教育力強化を目指す環境をPBLの取組性と評価」

市民公開型教職員協同講習会 <http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/ppsc/lecture.html>

The screenshot shows the website for the 'Citizen Open-type Faculty Collaborative Seminar' (市民公開型教職員協同講習会) at Doshisha University. The page is titled '2011年度 市民公開型教職員協同講習会' and provides details for two sessions.

2011年度 市民公開型教職員協同講習会

2011年度は、プロジェクトを進めるにあたって必要な要素の中から、リーダーシップ、チームビルディング、著作権をピックアップし、第一線で活躍中の講師の皆さんから全3回に亘って学んでいきます。

【第2回】

日時	10月14日(金) 午後4時45分～午後6時15分
場所	クラーク・チャペル(クラーク記念館)【今出川校地】 ※キャンパスマップは こちら をご覧ください。
講義	「プロジェクトにおけるチームビルディング」 オフィスアニバーサリー (財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ 竹下 知子 氏

【第1回】

日時	7月22日(金) 午後4時45分～午後6時15分
場所	クラーク・チャペル(クラーク記念館)【今出川校地】 ※キャンパスマップは こちら をご覧ください。
講義	「プロジェクトにおけるリーダーシップ」 コミュニケーション 代表取締役 山内 賢治 氏

【参加申込方法】

- ※ 本学教職員に限らず、学生、市民の方など、ご興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。
- ※ 申込定員に限りありますので、併席ご希望の方は事前に同志社大学教務部教務課(075-

シンポジウム開催報告 〈例〉 <http://www.doshisha.ac.jp/academics/activity/sympo110226.html>

The screenshot shows the website for a symposium report titled '文部科学省「大学教育・学生支援推進事業(大学教育推進プログラム)」に関わるお知らせ' (Notice regarding the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology's 'University Education and Student Support Promotion Project (University Education Promotion Program)').

文部科学省「大学教育・学生支援推進事業(大学教育推進プログラム)」に関わるお知らせ

プロジェクト・リテラシーと新しい教員教育
「PBL教育における多面的評価—PBLは社会で役に立つか—」【2011年2月26日開催】

>>>シンポジウムレポートPDF(10MB) (2011/03/24掲載)

■開催報告

2月26日(土)、今出川キャンパス第21号教室にてPBL推進支援センター主催の文部科学省大学教育・学生支援推進事業「テーマ1:大学教育推進プログラムの取組のひもとくとしてシンポジウムを開催した。PBL(Project-Based Learning)に對する関心は年々高まっており、大学を中心とした教育研究機関関係者、企業関係者や大学生など、146人の参加(シンポジウム参加者100名)があった。

シンポジウムは土田進夫副学長の挨拶後、3部構成で行い、第1部では、キャリア形成や大学教育に深い見識、鋭い視点をお持ちの専任講師(株式会社ニッチ代表取締役)、和木美咲氏(読売新聞東京本社編集局教育取材担当)より「大学教育に期待すること」と題した提言を頂いた。両氏の率直、明快な語り口、深く深く参加者の心がざぶざぶと見られた。

第2部では、プロジェクト科目受講生の北村龍彦さん(法学部4年生)、中村しのぶさん(文学部4年生)より、「プロジェクト科目で学生は何を学んでいるか」と題した事例報告が行われた。授業で培ったスキルを發揮した基々としたプレゼンテーションに、大きな拍手が寄せられた。続く第3部の「PBL教育を考えた～提言者・在学生・卒業生の視点から～」をテーマとしたシンポジウムでは、冒頭で、プロジェクト科目を受講した卒業生である三宅伸史氏(東京都立大学キャリア支援課)、安本博氏(京都市立北堀中学校奨励科教員)に、卒業後に社会の現場で、プロジェクト科目を通しての学びや経験がどのように活かされているかを聴取していただいた。受講で得られたスキルや学びに加え、「人とのつながり」が大きな財産になった、とのことだった。引き続き、山田知人PBL推進支援センター長を司会に、高杉直史、松澤氏、北村さん、中谷さん、三宅氏、安本氏の6名にご登壇いただいた。会場からの質問や意見を取り込みながら、大学に求められる学びや、社会の現場で役に立つ学びについて、熱く、活発な議論が展開された。

■シンポジウムの成果

今回のシンポジウムでは、提言者の提言を軸に、PBLの可能性と課題についての質疑応答を行うことができた。

参考資料 ダウンロード <http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/ppsc/siryu.html>

The screenshot shows the website for the PBL Support Center at Doshisha University. The page is titled "参考資料" (Reference Materials) and lists various documents available for download. The browser address bar shows the URL: <http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/ppsc/siryu.html>.

研究系・センター

- 全学共通教養教育センター
- 国際文化教育研究センター
- 人文科学研究所
- アメリカ研究所
- 理工学研究所
- キリスト教文化センター
- 歴史資料館
- 研究開発推進機構
- 教育開発センター
- 同志社史料センター
- 環境保全・英検対策支援センター
- **PBL推進支援センター**
 - ▶ PBL推進支援センター長からのご挨拶
 - ▶ センター概要
 - ▶ 組織体制
 - ▶ 事業内容の詳細について
 - ▶ PBL推進協議会
 - ▶ 市民公開型教職員信用講習会
- **参考文献**
- ▶ **リンク**
- ▶ **お問合せ/アクセス**

参考資料

- ▶ 必修制のプロジェクト科目による地域活性化 取り組み報告書 (2009.3発行) [PDF: 16MB]
- ▶ 同志社大学でのプロジェクト
『未来を切り拓く同志社発PBLの挑戦』 (2009.11発行) [PDF: 1.44MB]
- ▶ 『プロジェクト学習とポートフォリオ (1)』 [PDF: 393KB]
『文部科学教育通信』212号 (2009.9.14) (株式会社 シェアーズ 教育新社 発行)
- ▶ 『プロジェクト学習とポートフォリオ (2)』 [PDF: 467KB]
『文部科学教育通信』228号 (2009.9.28) (株式会社 シェアーズ 教育新社 発行)
- ▶ 『プロジェクト学習とポートフォリオ (3)』 [PDF: 390KB]
『文部科学教育通信』249号 (2009.10.12) (株式会社 シェアーズ 教育新社 発行)
- ▶ PBL推進支援センター講座 Vol.1 (2010.3発行) [PDF: 4.9MB]
- ▶ PBL推進支援センター講座 Vol.2 (2010.9発行) [PDF: 5.9MB]
- ▶ PBL推進支援センター講座 Vol.3 (2011.3発行) [PDF: 12MB]
- ▶ PBL推進支援センター講座 Vol.4 (2011.9発行) [PDF: 5.6MB]
- ▶ シンポジウム『未来を切り拓くPBL-「教育」の扉を越えて』 (2010.2.20) [PDF]
- ▶ シンポジウム『PBL教育における多面的評価-社会が求める人材像』 (2010.6.26) [PDF]
- ▶ シンポジウム『PBL教育における多面的評価-PBLは社会で自に立つか?』 (2011.2.26) [PDF]

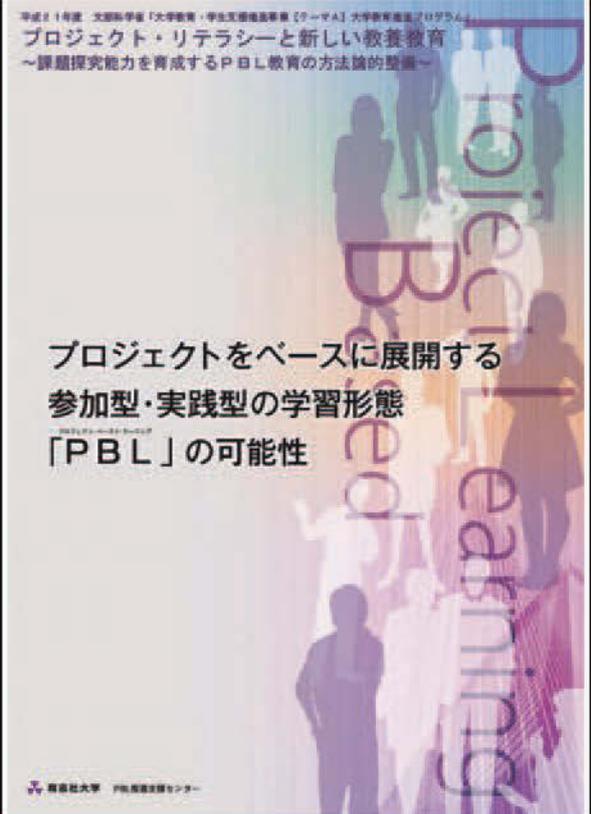
PDF形式の文書をご覧になるには Adobe Readerが
必要です。アイコンをクリックしてダウンロードして
ください。(検索)

法人内諸学校 | リンク集 | このサイトについて | 個人情報保護について | 情報セキュリティポリシー | 教職員募集 | 本学教職員

Copyright(C) Doshisha University All Rights Reserved.

刊行物 (パンフレット、冊子類)

●プロジェクトをベースに展開する参加型・実践型の学習形態「PBL」の可能性



平成21年度 文部科学省「大学教育・学生支援推進事業（テーマ）大学教育推進プロジェクト」
プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育
～課題探究能力を育成するPBL教育の方法論的整備～

プロジェクトをベースに展開する
参加型・実践型の学習形態
「PBL」の可能性

同志社大学 PBL推進支援センター

プロジェクト科目テーマ一覧(抜粋)

2010年度

- 国語科「山手線沿線にあるまちづくり（デザイン）講座」
- 英語科「英語で伝える文化・習慣の理解を促す」
- 経済学「経済学入門（マクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」

2009年度

- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」

2008年度

- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」

2007年度

- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」

2006年度

- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」
- 経済学「経済学入門（ミクロ）の発展的授業プロジェクト」

同志社大学 PBL 推進支援センター
TEL: 075-831-4800 FAX: 075-251-8064 E-mail: pbl@doshisha.ac.jp
http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/pbl/
http://pbl.doshisha.ac.jp/blog/

キーワードは「プロジェクト・リテラシー」

従来型教養教育の壁を破る「PBL」とは

教養教育のあり方は、時代や社会とともに変化してきています。ただ基礎を固めた後の高度なスキルを身に付けるだけでは、高度な知識を身に付けることができません。高度な知識を身に付けるためには、必要に応じて自ら学ぶ能力を身に付けることが必要です。PBLは、これを実現するための新しい教養教育の形態として期待されています。PBLは、プロジェクト・ベース・ラーニング（以下PBLと略す）です。

地域社会や企業の方々から出された様々なテーマについて、学生が主体的に課題解決に取り組む実践型・参加型の科目です。地域社会と企業が持つ教育力を大学に導入することによって、プロジェクト遂行に必要なコミュニケーション力やチームワーク力などのスキルを総合的に養成することができます。PBLは、その重要な役割を担っています。

PBLを通して自らの能力を伸ばすことは、キャリアデザインを考える上で欠かせない重要な要素です。プロジェクト・リテラシーを身に付けることは、将来のキャリア形成に大きく貢献するものと期待されています。

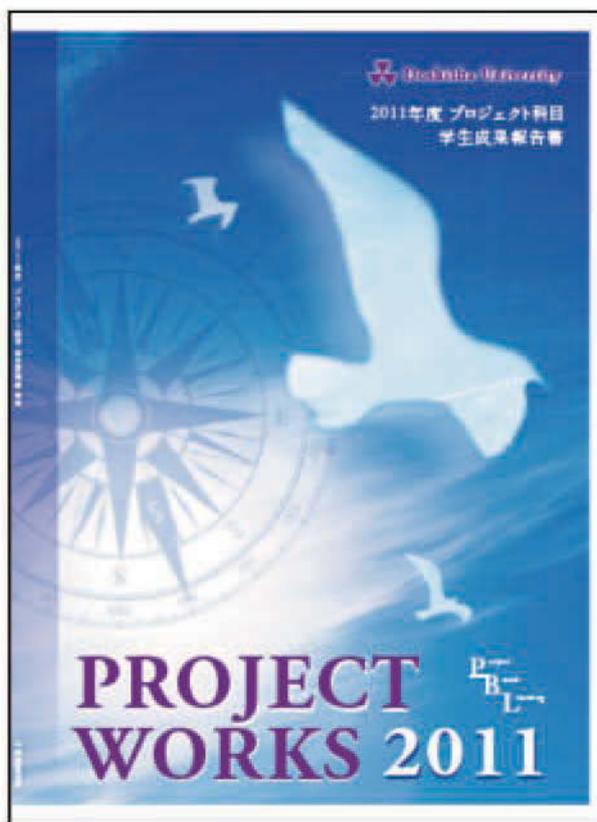
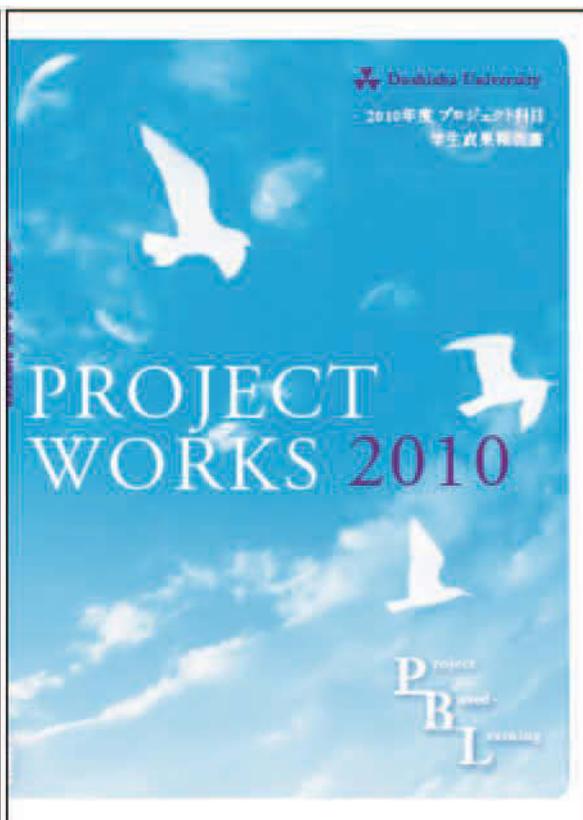
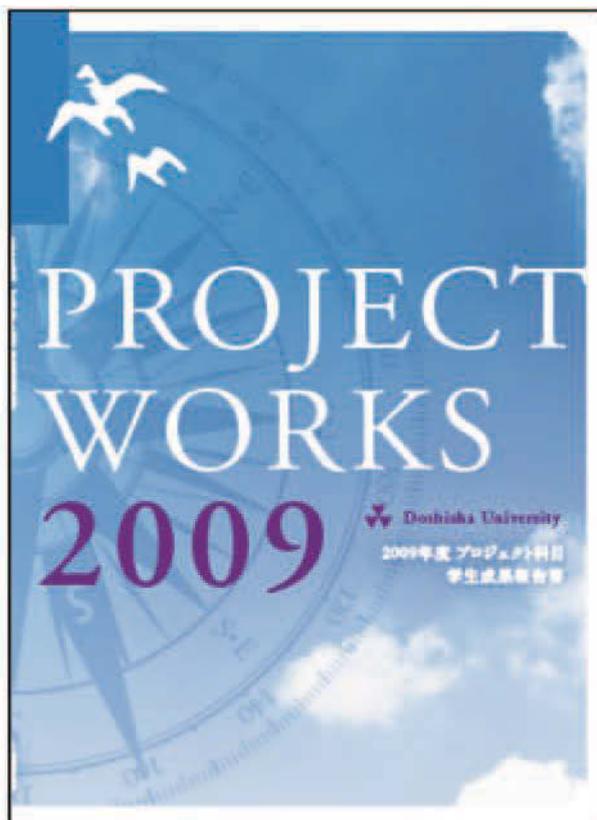
社会・地域が持っている教育力を活かすために教育・研究機関、企業・団体、地方自治体、地域の連携が必要です。

教育は、これまで以上に多岐にわたる分野で展開され、グローバル化が進んでいます。大学も例外ではありません。一方では、グローバル化が進む中で、大学が持つべき役割はますます大きくなっています。大学が持つべき役割は、単に知識を伝えるだけでなく、学生が自ら学ぶ能力を身に付けることです。PBLは、これを実現するための新しい教養教育の形態として期待されています。PBLは、プロジェクト・ベース・ラーニング（以下PBLと略す）です。

地域社会や企業の方々から出された様々なテーマについて、学生が主体的に課題解決に取り組む実践型・参加型の科目です。地域社会と企業が持つ教育力を大学に導入することによって、プロジェクト遂行に必要なコミュニケーション力やチームワーク力などのスキルを総合的に養成することができます。PBLは、その重要な役割を担っています。

PBLを通して自らの能力を伸ばすことは、キャリアデザインを考える上で欠かせない重要な要素です。プロジェクト・リテラシーを身に付けることは、将来のキャリア形成に大きく貢献するものと期待されています。

●プロジェクト科目学生成果報告書



●PBL推進支援センター通信

PBL

Project - Based Learning

推進支援センター通信

Vol.1



高尾 隆雄 (岡山大学教育文化研究センター長)

「PBL推進支援センター設置にあたって」

山田 隆夫 (岡山大学教育文化研究センター長)

「PBL推進支援センターの目指すもの」

佐藤 隆夫 (岡山大学教育文化研究センター長)

「PBLの課題と可能性について」

2014年度プロジェクト報告

- 教育学部グループ
- 工学部
- 経済学部
- 法学部
- 看護学部
- 国際学部
- 環境学部

2014年度プロジェクト報告

2014年度プロジェクト報告

岡山大学

PBL

Project - Based Learning

推進支援センター通信

Vol.2



高尾 隆雄 (岡山大学教育文化研究センター長)

「PBL推進支援センターに期待すること」

山田 隆夫 (岡山大学教育文化研究センター長)

「PBLの形」

佐藤 隆夫 (岡山大学教育文化研究センター長)

「PBLの形」

2015年度プロジェクト報告

- 教育学部
- 工学部
- 経済学部
- 法学部
- 看護学部
- 国際学部
- 環境学部

2015年度プロジェクト報告

2015年度プロジェクト報告

岡山大学

PBL

Project - Based Learning

推進支援センター通信

Vol.3



高尾 隆雄 (岡山大学教育文化研究センター長)

「学生とプロジェクト」

山田 隆夫 (岡山大学教育文化研究センター長)

「甲南大学におけるPBLの取組」

佐藤 隆夫 (岡山大学教育文化研究センター長)

「PBLの形」

2016年度プロジェクト報告

- 教育学部
- 工学部
- 経済学部
- 法学部
- 看護学部
- 国際学部
- 環境学部

2016年度プロジェクト報告

2016年度プロジェクト報告

岡山大学

PBL

Project - Based Learning

推進支援センター通信

Vol.4



高尾 隆雄 (岡山大学教育文化研究センター長)

「プロジェクト推進委員会が有代表者として岡山大学のプロジェクトを」

山田 隆夫 (岡山大学教育文化研究センター長)

「法政大学におけるPBLの取組」

佐藤 隆夫 (岡山大学教育文化研究センター長)

「PBLの形」

2017年度プロジェクト報告

- 教育学部
- 工学部
- 経済学部
- 法学部
- 看護学部
- 国際学部
- 環境学部

2017年度プロジェクト報告

2017年度プロジェクト報告

岡山大学

●シンポジウム、フォーラム案内

同志社大学 文部科学省大学教育・学生支援推進事業【テーマA】
大学教育推進プログラム シンポジウム

未来を切り拓くPBL

—「教育」の壁を越えて—

**2010年
2月20日(土)**
13:30~17:45

同志社大学 今出川キャンパス
明德館21番教室
(京都府上京区今出川四角丸太町)

講師

- 田端 信廣 (同志社大学 法学部 文学部教授)
- 山田 和人 (同志社大学 PBL推進支援センター 専任講師)

基調講演
京都市から見た
地域連携教育の可能性
門川 大作 (京都市)

事例報告
小学校・中学校・高等学校・大学における
PBLの試み

シンポジウム
■学生によるパネルディスカッション
■新卒の文化を考える
同志社大学2009年度プロジェクト科目受講生
■シンポジウム
■「教育」の壁を越えて

先着200名
入場無料

申込: メールまたはFAX・TELにて先着200名受付 締切日: 2月15日(月)
主催: 同志社大学PBL推進支援センター (京都府上京区今出川四角丸太町、京都府京都市下京区今出川三丁目)

同志社大学

文部科学省大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム

PBL教育における多面的評価

同志社大学
PBL推進支援センター
2010年度 第1回シンポジウム

2010年6月26日(土) 13:00~16:30
同志社大学 今出川校地 明德館1番教室
(京都府上京区今出川四角丸太町、京都府京都市下京区今出川三丁目)

お問い合わせ 同志社大学 教育学部・教育学科 土田 道夫
本日のシンポジウムについて 同志社大学 PBL推進支援センター 専任講師 山田 和人

第1部 シンポジストによる講演
「社会の求めに応え得る大学教育“キャリア教育”“就業力支援”に関する考察 —企業と大学双方の視点から—」
長尾 智晶 (同志社大学 経済学部 経済学系 准教授)
「これからの市議員に求められる資質」
山本 達夫 (京都府 京都市議会 経済生活政策委員)
「公を抱くNPO人について」
今村 勲 (京都府 京都市議会 経済生活政策委員会 委員)
「企業が期待する人材像」
武田 一平 (トヨタ自動車株式会社)

第2部 Q&Aセッション
長尾 智晶 (同志社大学 経済学部 経済学系 准教授)
山本 達夫 (京都府 京都市議会 経済生活政策委員)
今村 勲 (京都府 京都市議会 経済生活政策委員会 委員)
武田 一平 (トヨタ自動車株式会社)
山田 和人 (同志社大学 PBL推進支援センター 専任講師)

申込: メールまたはFAX・TELにて先着150名受付 締切日: 6月23日(水)
主催: 同志社大学PBL推進支援センター (京都府上京区今出川四角丸太町)

同志社大学

文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム
同志社大学 PBL推進支援センター 2010年度 第2回 シンポジウム

PBL教育における多面的評価

— PBLは社会で役に立つか —

**2011年
2月26日(土)**
13:00~16:30

同志社大学
今出川校地 明德館1番教室
(京都府上京区今出川四角丸太町、京都府京都市下京区今出川三丁目)

講師

- 土田 道夫 (同志社大学 教育学部 教育学科 教授)
- 鎌倉 [大学教育に求めるもの]
海老原 嗣生 (株式会社 コーチモ 代表取締役)
- 松本 美奈 (京府新聞 東京本社 編集長 教育取材担当)

在学学生による報告
「プロジェクト科目で学生は何を学んでいるか」

シンポジウム
「PBL教育を考える —企業・在学学生・卒業生の視点から—」
同志社大学 PBL推進支援センター 専任講師 山田 和人

先着150名
入場無料

申込: メールまたはFAXにて先着150名受付 締切日: 2011年2月21日(月)
主催: 同志社大学 PBL推進支援センター (京都府上京区今出川四角丸太町、京都府京都市下京区今出川三丁目)

同志社大学

文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム

PBL教育フォーラム

同志社大学 PBL推進支援センター 2011年度 第1回 フォーラム

**2011年
10月22日(土)**
13:00~17:10

同志社大学
新町キャンパス 大
四光館301番教室
(京都府京都市中京区新町)

講師

- 西納 夢雄 (同志社大学 全学共通教育センター 所長)
- 新田 謙三 (同志社大学 社会学部 社会学科 教授) 社会で求められる「実力」とは? Why PBL?
- 学生による勉強発表
・早稲田大学「プロジェクト・ベースドラーニング」
・明治大学「社会学部 社会テーマ実践4日」
・正法学院大学「実践教育プログラム」
・甲南大学「180プロジェクト」
・同志社大学「プロジェクト発表」
- パネルディスカッション
「学生と共に考える学習環境」

先着150名
入場無料

申込: メールまたはFAXにて先着150名受付 締切日: 2011年10月17日(月)
主催: 同志社大学PBL推進支援センター (京都府京都市中京区新町)

同志社大学

第3弾

文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム
同志社大学 PBL推進支援センター 2011年度シンポジウム

2012年2月18日(土)
13:00~16:40

同志社大学 今出川校地
明德館1 番教室

入場無料
先着150名

学びの原点 プロジェクト型教育の挑戦！
誰が何をいかに評価するのか？

【講演者】
土田 遼夫 (同志社大学教育学部 教育実践研究センター 准教授)
山田 和人 (同志社大学 PBL推進支援センター 学芸員)

【講演題目】
「教育とは何かの基本的な問いからPBLの意義を考える」
濱上 慎一 (京都大学教育実践研究センター 准教授)

【講演者】
同志社大学プロジェクト科目
学生報告1
学生報告2

【講演題目】
「東京理科大学情報科学部における
PBL型授業の評価について」
土肥 紳一 (東京理科大学情報科学部 准教授)

【講演題目】
「専修大学ネットワーク情報学部における
PBL型授業の評価について」
飯田 周作 (専修大学ネットワーク情報学部 教授)

【講演題目】
「誰が何をいかに評価するのか？」
濱上 慎一 (京都大学教育実践研究センター 准教授)
土肥 紳一 (東京理科大学情報科学部 准教授)
飯田 周作 (専修大学ネットワーク情報学部 教授)
同志社大学プロジェクト科目 学生
【司会】同志社大学 PBL推進支援センター 学芸員 山田 和人

● メールまたはFAXにて先着150名受付 (要申込)

● 2012年2月13日(月)

● 同志社大学 PBL推進支援センター (〒604-8601 京都市中京区) までお申し込み。お申し込み先は「同志社大学」です。

同志社大学

問い合わせ 教育実践研究センター 075-251-4000 FAX 075-251-3094 email pbl@shoin.ac.jp
http://www.shoin.ac.jp/cademics/edu/edu/pbl/2012/pbl_p.htm
http://www.shoin.ac.jp/cademics/edu/pbl/pbl.htm
http://www.shoin.ac.jp/cademics/edu/pbl/pbl.htm

● シンポジウム報告書

同志社大学 文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】
大学教育推進プログラム

プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育
～課題解決力を育成するPBL 授業の方法論的考察～

未来を切り拓く
PBL
「教育」の壁を越えて

シンポジウム・レポート
The report of the symposium
2010.2.20(土)

同志社大学 PBL推進支援センター

同志社大学 文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】
大学教育推進プログラム

プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育
～課題解決力を育成するPBL 授業の方法論的考察～

PBL 教育における
多面的評価
～社会が求める人材像～

シンポジウム・レポート
2010年 6月 26日(土)
今出川キャンパス 明德館1 番教室

同志社大学 PBL推進支援センター

立命館大学教育・学生支援推進委員会(リーマ) 大学教育推進プログラム

プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育
～高度探求力を育成するPBL教育の方法論的整備～

PBL教育における
多面的評価
—PBLは社会で役に立つか—



シンポジウム・レポート
2011年2月26日(土)
今出川キャンパス 明徳館1階教室

立命館大学 PBL推進支援センター

立命館大学教育・学生支援推進委員会(リーマ) 大学教育推進プログラム
プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育 ～高度探求力を育成するPBL教育の方法論的整備～

第3回 学びの原点 プロジェクト型教育の真実!

**誰が何を
いかに評価
するのか?**



シンポジウム・レポート
2012年2月18日(土)
今出川キャンパス 明徳館1階教室

立命館大学 PBL推進支援センター

新聞記事一覧

掲載日	掲載媒体	掲載内容・プロジェクト
■2009年度		
2009年 11月14日(土)	京都新聞	2009年度プロジェクト科目 出会いを楽しめる空間づくり～遊空間のプロデュース～ 「クリスマス飾り 廃材利用しつこう」
2009年 11月15日(日)	岐阜新聞	「プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育 平成21年度大学教育・学生支援推進事業選定」
2009年 12月5日(土)	毎日新聞	「第6回毎日大学フォーラム—第2部事例報告— プロジェクト・リテラシーと新たな教養教育 同志社大 教育支援機構長 圓月勝博氏」
2009年 12月15日(火)	東京新聞	2009年度プロジェクト科目 F1をつくろう! (2009 JSAE 学生フォーミュラーカー大会出場を目指して) 「伝えたい科学の楽しさ 国立博物館 全国の大学「フェスタ」」
2009年 12月17日(木)	京都新聞	2009年度プロジェクト科目 京都の伝統織物の情報発信プロジェクト 「錦織の魅力 同大生探求」
2009年 12月21日(月)	京都新聞	2009年度プロジェクト科目 スポーツイベント開催! 学生と地域の連携によるスポーツクラブ 「武道に挑戦 児童ら真剣」
2010年 1月26日(火)	毎日新聞	2009年度プロジェクト科目 夜間中学を社会に向けて発信しよう! 夜間中学を知っていますか? 「真の学び 考えた」
2010年 1月29日(金)	京都新聞	2009年度プロジェクト科目 「花のキャンパスライフ」から情報発信に挑戦、新聞、ラジオ、ネットで 「同大生がラジオ番組」
■2010年度		
2010年 5月26日(水)	朝日新聞	「関西の大学力 同志社大学の真価」
2010年 6月11日(金)	毎日新聞	2010年度プロジェクト科目夜間中学を社会に発信しよう! 夜間中学を知っていますか? 「同大生、夜間中学を訪問」
2010年 7月30日(金)	毎日新聞	2010年度プロジェクト科目夜間中学を社会に発信しよう! 夜間中学を知っていますか? 「夜間中学の重要性訴え」
2010年 8月19日(木)	京都新聞	「同志社大・市民公開型教職員協同講習会 「経済産業界から学ぶPBL」」
2010年 9月1日(水)	京都新聞	「実践・参加型授業テーマ公募」
2010年 9月13日(月)	京都新聞	2008年度プロジェクト科目 玩具産業を通じて学ぶ学生のための「実践と自立のための玩具企画開発」 「同大生発案 3Dカメラ」
2010年 9月23日(木)	京都新聞	「同志社大・市民公開型教職員協同講習会 「経済産業界から学ぶPBL」」
2010年 10月5日(火)	朝日新聞	2008年度プロジェクト科目 玩具産業を通じて学ぶ学生のための「実践と自立のための玩具企画開発」 「同大生発案 3Dカメラ」
2010年 11月16日(火)	京都新聞	2010年度プロジェクト科目 ウィーン風成人式「オーパンバル in 同志社」実現プロジェクト 「成人デビュー「舞踏会」で」
2010年 12月14日(火)	毎日新聞	2008年度プロジェクト科目 玩具産業を通じて学ぶ学生のための「実践と自立のための玩具企画開発」 「女子大生が3Dデジカメ」
2010年 12月19日(日)	京都新聞	2010年度プロジェクト科目 花で生きる力を高める—花を活用する生活と社会活動の企画実践プロジェクト— 「花や落ち葉でアート」

2010年 12月20日(月)	京都新聞	2010年度プロジェクト科目 『スポーツイベント開催！』学生と地域の連携によるスポーツクラブ 「武道8種目 児童ら挑む」
2010年 12月25日(土)	朝日新聞	2010年度プロジェクト科目 食育と健康（自家菜園を通して薬膳を考える） 「同志社大生 薬膳レシピ」
2010年 12月30日(木)	京都新聞	2010年度プロジェクト科目 食育と健康（自家菜園を通して薬膳を考える） 「薬膳 お勧め22のレシピ」
2011年 1月10日(月)	京都新聞	2010年度プロジェクト科目 ウィーン風成人式「オーパンバル in 同志社」実現プロジェクト 「踊る学生 大人実感」
2011年 1月18日(火)	京都新聞	2010年度プロジェクト科目 環境教育教材作成プロジェクト—環境マインドを持った次世代リーダーの育成 「環境すごろくでエコ学習」
2011年 2月2日(水)	毎日新聞	2010年度プロジェクト科目 夜間中学を社会に発信しよう！夜間中学を知っていますか？ 「夜間中学を知っていますか」
2011年 2月21日(月)	毎日新聞	2010年度プロジェクト科目 夜間中学を社会に発信しよう！夜間中学を知っていますか？ 「『学ぶ権利』守る夜間中学 同志社大生 冊子で問題提起」
2011年 3月16日(水)	けいはんな オブザーブ	2010年度プロジェクト科目 食育と健康（自家菜園を通して薬膳を考える） 「旬の薬膳で健康ライフを 同志社大生が授業の成果を冊子に」
■2011年度		
2011年 6月20日(月)	毎日新聞	2011年度プロジェクト科目 夜間中学を社会に発信しよう！夜間中学生を知っていますか？ 「『夜間中学のあした』どこへ？」
2011年 7月10日(日)	京都新聞	2011年度プロジェクト科目 「京丹後漁業活性化プロジェクト—新たな地域ブランド商品の開発」 「『京丹後の魚介で新商品を』同大生ら料理試作、披露」
2011年 7月10日(日)	毎日新聞	2011年度プロジェクト科目 「京丹後漁業活性化プロジェクト—新たな地域ブランド商品の開発」 「バイガイ加工新商品今秋完成」
2011年 7月13日(水)	教育学術 新聞	山田和人PBL推進支援センター長「PBLによる学びの学習 法政大がFDワークショップ」
2011年 7月14日(木)	産経新聞	2011年度プロジェクト科目 「京丹後漁業活性化プロジェクト—新たな地域ブランド商品の開発」 「京丹後に新たな地域ブランドを」
2011年 8月4日(木)	産経新聞	2008年度プロジェクト科目 玩具産業を通じて学ぶ学生のための「実践と自立のための玩具企画開発」 「産学協同 女子大生ブーム？」
2011年 8月27日(土)	京都新聞	「参加型授業のテーマを募集 同志社大」
2011年 11月1日(火)	京都新聞	2011年度プロジェクト科目 私はイベントプロデューサー！ 「西陣織で特大タペストリー作り」
2011年 11月15日(火)	京都新聞	2011年度プロジェクト科目 ソーシャル・プロデューサー養成講座～統一地方選挙と坂本龍馬をプロデュースせよ～ 「平成の龍馬になれ」
2011年 12月11日(火)	毎日新聞	2011年度プロジェクト科目 食育と健康（薬膳と野菜作りで、正しい食事と健康を考える） 「同大生が『鍋フェスタ』の収益を寄付」
2011年 12月22日(木)	化学工業 日報	2011年度プロジェクト科目 ものづくり・人づくり 中村成男（科目担当者） 「母校の学生にレーシングカー作成指導」
2012年 1月6日(金)	朝日新聞	2011年度プロジェクト科目 プロスポーツにおけるファン獲得と地域密着のためのマーケティングリサーチ 「京都！元気スポーツ祭」
2012年 2月21日(火)	京都新聞	2011年度プロジェクト科目 「平成の京街道をゆく～京阪沿線の魅力を発見・発掘・発信しよう！」 「『宿場町』で沿線PRを」
2012年 2月29日(水)	毎日新聞	2011年度プロジェクト科目 夜間中学を社会に発信しよう！夜間中学生を知っていますか？ 「夜間中学もっと知って」

平成21年度 文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム

プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育
～課題探求能力を育成するPBL教育の方法論的整備～
取組報告書

2012年3月 発行

編集・発行 同志社大学教育支援機構教務部教務課
PBL推進支援センター事務局
〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL 075-251-4630 FAX 075-251-3064
e-mail : ji-pbl@mail.doshisha.ac.jp

(PBL推進支援センター) <http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/ppsc/>
(プロジェクト科目) <http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/pbl/>
(プロジェクト科目ブログ) <http://pbl.doshisha.ac.jp/blog/>

禁無断転載 非売品